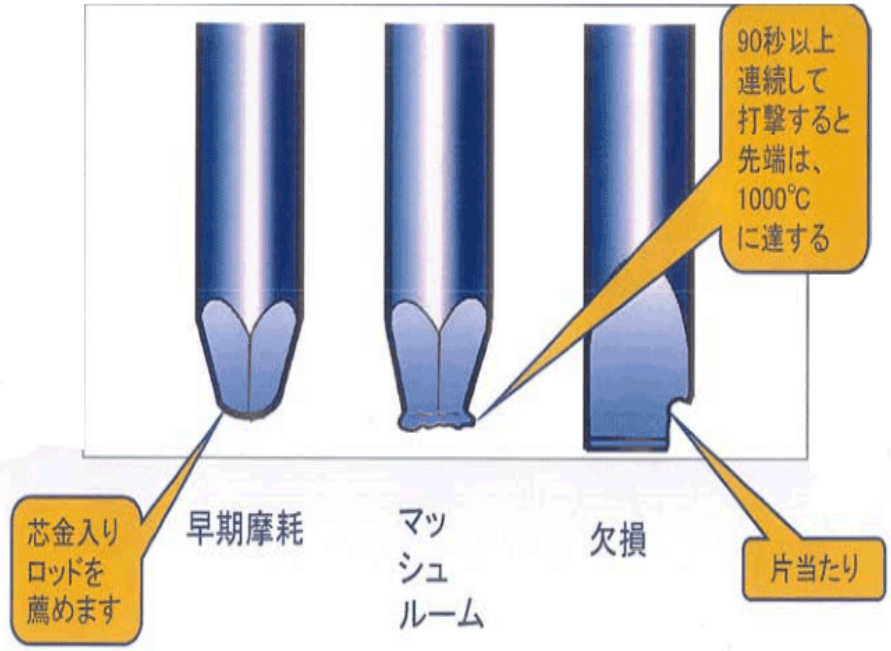
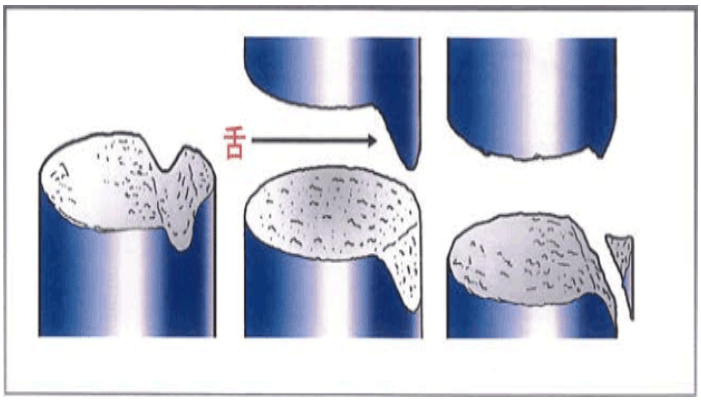
ブレーカを洗浄する前に確認！

ロッド変形・破損	費用負担先は？
オイル漏れ	次回レンタルの準備 洗浄すると見えなくなります
付属アクセサリ・ピン・ブッシュ・ホース金具	返却されていますか

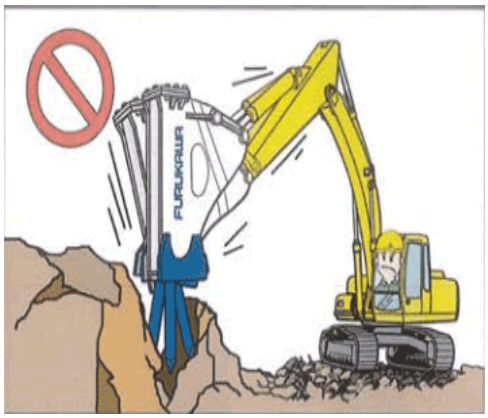
新品ロッドにみられる損傷

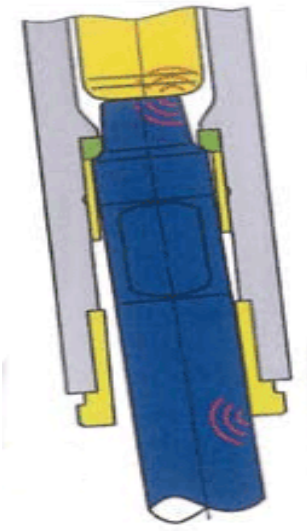


大きな曲げ力による折損



＊ロッドを岩に刺したままアームを前後に動かすなど、
ロッドに大きな曲げる力が繰り返し加わった。
＊「舌」地呼ばれる部分が形成されるのが特徴。
＊打撃時に大きいアームの力で曲げおられた傾向。

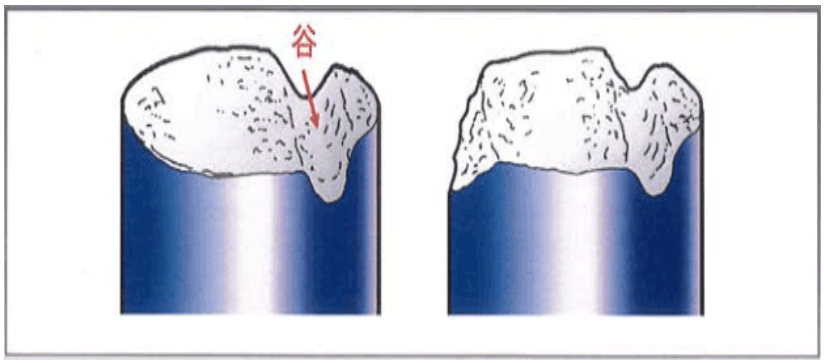


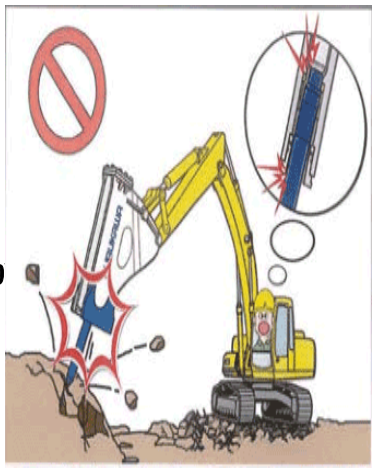


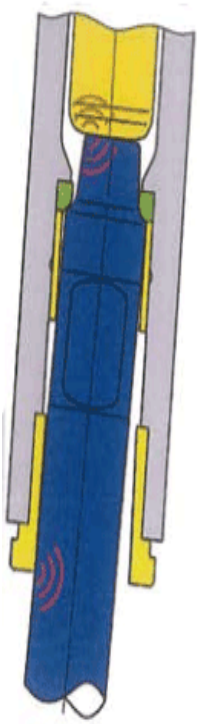
＊ロッドを岩に差し込んだまま。
＊バケットシリンダの力でブレーカ全体を「てこ」にして
岩を割ると、ロッドに無理な曲げ力が加わる。
＊さらに打撃が加わることでロッドの胴体折損にいたる。

打撃＋曲げ力による折損

＊ロッドを岩に対し斜めに当てたまま打撃をくりかえした。
＊ロッドを曲げる力と打撃の力の合成力で折損した。
＊どちらかというと打撃の力による影響が大きい傾向。
＊「谷」と呼ばれる部分が形成される。

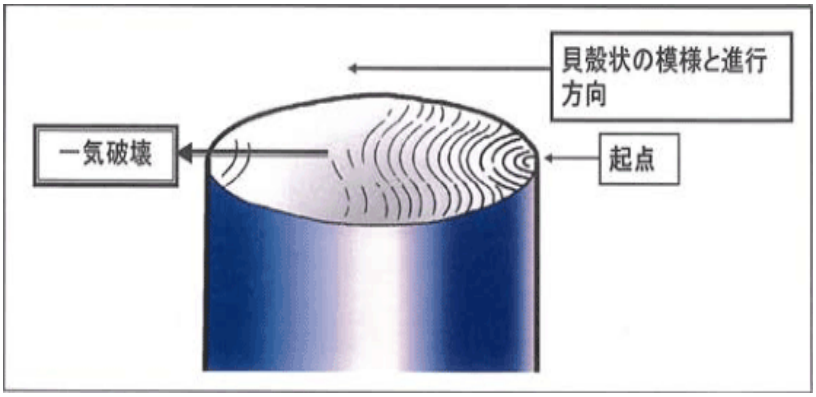






＊ロッドを折り曲げる方向の荷重をかけた
状態で打撃。
＊ロッドは1箇所で強くあたり、これに打撃力が
加わり折損にいたる。

疲労破壊



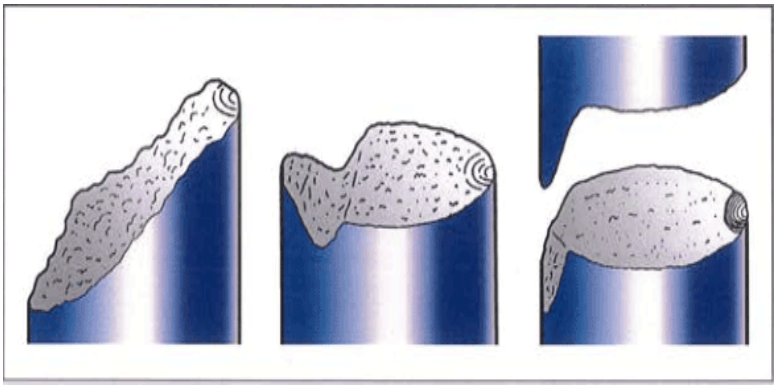
＊ロッドの胴体についた1－2mmの深さの傷を起点として。
＊ロッドが曲げや曲げ＋打撃の力で疲労し木の年輪のように
貝殻上の波紋を残して亀裂が成長する。
＊直径の1／2程まで亀裂が進んだところで曲げの力に
耐えられなくなり一気に破損にいたる。

金属疲労による破損

＊ロッド胴体にある浅いが角の立った傷から亀裂が進行
＊亀裂がロッド中央付近まで達したところで曲げ＋打撃
力に耐えきれず一気に破断した。

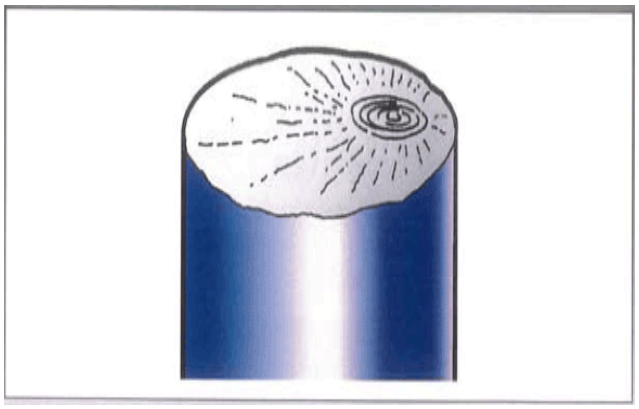
深い傷を起点とする亀裂

＊ロッドの胴体についた1－2mmの深さの傷を起点として。
＊ロッドが曲げや曲げ＋打撃の力で木の年輪のように亀裂成長する、
大きな力でもまれ折損にいたる。
＊起点となった傷から波紋のように亀裂が進行した跡が
見られる。



素材の欠陥

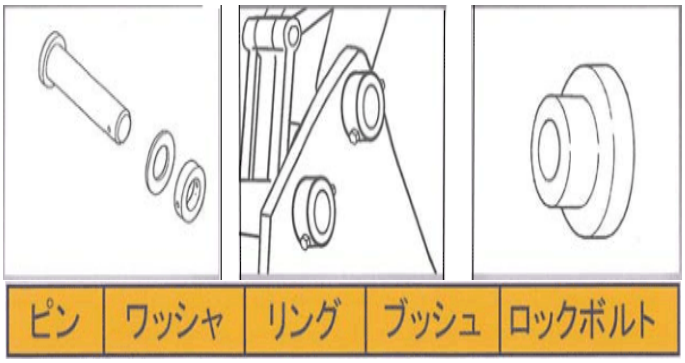
＊ロッドを制作する過程で残った材料の不一致な部分を起点として傷が成長して亀裂にいたる、材料の欠陥。



ピン・ブッシュ類の回収

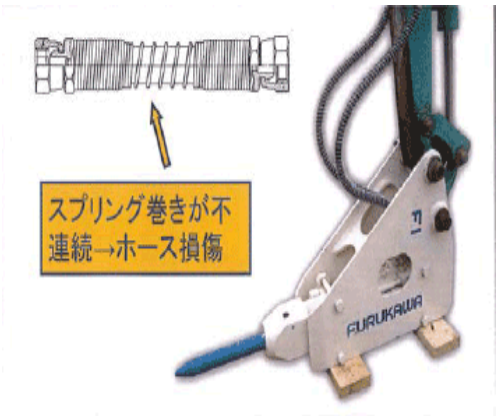
・ホース金具（止めプラグ） 回収

・ホース変換金具　回収

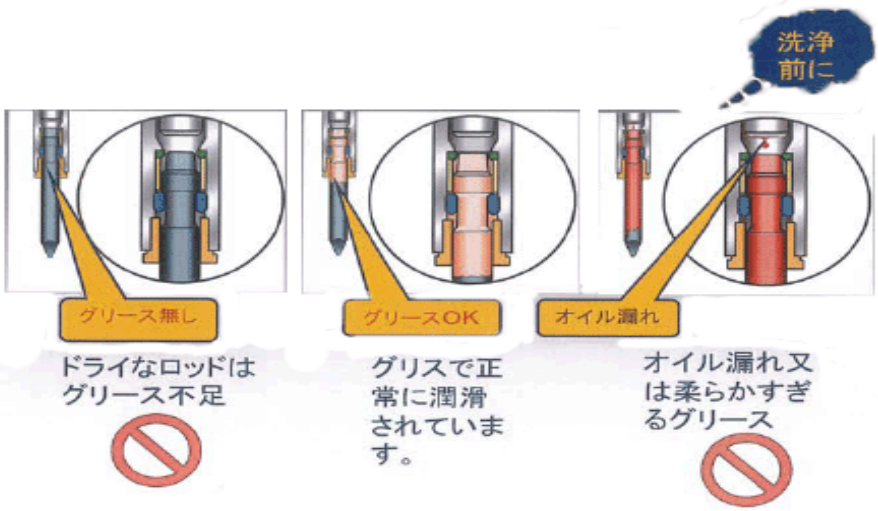


ホースと金具の確認

＊ホース金具の損傷を確認します。
＊スプリング巻きが損傷している時はホースが損傷している可能性があります。



グリースとオイル漏れ確認



オイル漏れ確認2

＊漏れたオイルが汚れていた場合は、泥や水中で
使用されていた可能性があります。

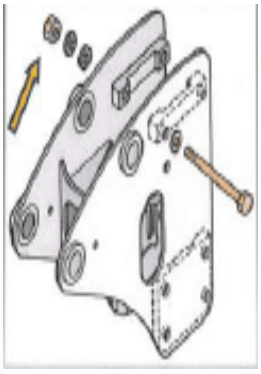
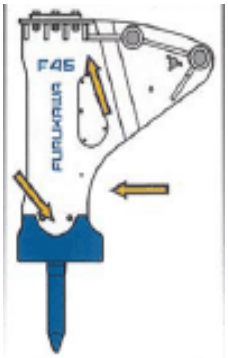
＊分解点検が必要な場合があります。

泥付着の確認

＊泥が大量に付着している場合は、泥の中で使用された
可能性があり、オイル漏れ等に発展する場合があります。

ボルト・ナットのゆるみ確認

＊ブレーカ固定用ボルト・ナットは振動でゆるみやすい。

＊ブレーカ稼働から50時間/2週間が特に要注意です。

＊ゆるみはすぐに増し締めして下さい。